

年 度 評 価 シ ー ト

課名 スポーツ振興課

施設の名称 静岡市駿府城ラン・アンド・リフレッシュ ュステーション	指定管理者名 駿府城ラン・アンド・リフレッシュステーシ ョン管理運営共同事業体
1 履行状況	
業務仕様書及び事業計画書に従って適切に履行されている。	
(1) 維持管理業務 施設管理業務、利用者へのサービス提供に関する業務を実施したほか、建物等の維持管理業務について、一部を第三者委託により実施し、各業務とも事業計画に従って適切に行われている。 主な修繕業務は以下のとおりである。 ア 屋外用パラソル修繕 イ 野外ベンチ修繕	
(2) 施設利用者数 令和元年度の施設利用者数は、全体で25,993人（ロッカー利用：4,702人、交流スペース：21,291人）となっており、前年度の施設利用者数28,454人と比較して、8.6%減である。これは設置1年目である前年度は広報やイベントを大々的に行ったことにより利用者数が多かったことや、台風や大雨などの悪天候が続いたことにより利用者が減少した。業務仕様書上の目標値である9,966人を大幅に上回っているため、今後も更なる利用者数の増加を期待している。	
(3) 事業実施状況 全体で指定事業1教室、自主事業8教室を実施し、延べ479人が受講した。教室は事業計画書のとおり実施されている。 主な教室の参加者数は以下のとおりである。 ア 初心者ジョギング教室 募集人数 360人 参加者 247人 イ ポイントラリーウォーク 募集人数 30組 参加者 30人 ウ グルランR&R 参加者 105人（募集人数の設定無し）	
2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）	
利用者からの意見・要望に対しては適切な対応がとられている。 今後とも、多種多様な利用者の意見・要望に対して、親切丁寧な対応が取られることを期待する。	
【具体的な意見・要望と対応状況】	
① 意見・要望 突風によりパラソルの土台が飛んでしまった。	
対応・回答等 常時パラソルを閉じ、利用者の希望及び強風注意報が発令されていない場合に限り	

パラソルの開閉を行うことにした。

②意見・要望

タオルの販売又はレンタルできるようにしてほしい。

対応・回答等

タオル（34cm×82cm）の販売を開始した。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

○利用者満足度調査（回答者総数：174人、満足と回答した人数：166人）

施設利用者に対してアンケートを実施し、令和元年度は95.4%の利用者から満足である旨回答を得ている。前年度の97.3%と比較して1.9ポイント減であるが、業務仕様書上の目標値である90%は上回っており、事業展開は良好と言える。

4 指定管理者の経理状況の評価

指定管理業務における収支状況については、適正に執行されており、良好である。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

令和元年度に実施したモニタリングにおいては、特に改善事項はなかった。今後も各事務手続マニュアルに基づき、適正な処理を実施していただきたい。

施設の維持管理については、日常点検の実施により施設全体の状況を把握し、必要に応じて修繕を実施することで利用者が安心して利用できる安全な施設を提供している。

管理運営全般については、事業計画書に従い適切に実施している。新規施設であるため、人員配置など臨機応変な対応を求められたが、実情の分析や近隣施設のイベント情報を調査し、適切な対応をすることができている。また、民間事業者であるSo Juiceと連携し飲食サービスを行うことで、ランナー以外の利用も呼び込むことができている。

教室事業については、事業計画書に従い適切に実施している。今年度は既存の自主事業を発展させ新規自主事業を3つ開講し、特にグルランR&Rは指定事業の受講者がランニングを継続できるようにしたもので、静岡市スポーツ推進計画の「市民一人1スポーツ」に寄与する事業展開を行っている。

駿府城跡周辺の賑わい創出事業については、歴史名所巡りを行うノルディックウォーキングや周辺飲食店と連携し家族を対象としたポイントラリーウォークなど、スポーツを融合させた事業を継続実施している。今年度はオープン1周年記念イベントをゴールデンウィークに開催し、来館者数は10日間で合計1,000人超となり施設の認知度向上にも繋がっている。また屋外のウッドデッキスペースとケータリングスペースを有効活用するため、JVである静岡市まちづくり公社と連携しアウトドアヨガの体験イベントを開催するなど、駿府城跡周辺の賑わいを創出する事業を行っている。

本施設はランニング等に親しむ拠点の提供による心身の健康の保持増進及び駿府城跡周辺の賑わいの創出を設置目的とした施設である。今後も設置目的の達成のため、ニーズを捉えた事業展開を期待している。